

教科教育専攻

●専攻の教育理念と教育目的

本課程は、国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術教育、家政教育、英語教育の各専修から成ります。それぞれ学士課程で培った資質能力を基礎とし、教科教育にかかる高度な実践的指導力をもち、自己の使命と責任とを自覚し、自律的に社会に貢献する専門的職業人の育成を使命としています。そのため、学生は、各専門教科の教育に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を意識しつつ、専門教科の教育に関して高度な専門的知識を習得し、それをもとに専門教科の教育をめぐる現代的諸課題への対応方を適切に考え、高い技能と豊かな表現力をもってそれを実践する力を培います。

●専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、修了時に必ず身につける能力)

<態度>

1. 高度な実践的指導力をもった専門的職業人として、自己の使命と責任とを自覚し、自律的に社会に貢献することができる。

<関心・意欲>

2. 専門教科の教育に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究することができる。

<知識・理解>

3. 専門教科の教育に関連する諸科学に関して高度な専門的知識を習得している。

<思考・判断>

4. 専門教科の教育をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方を適切に考えることができる。

<技能・表現>

5. 教育にかかわる高い技能と豊かな表現力を身につけ、高度な実践的指導力をもって専門教科に関する教育活動に取り組むことができる。

●専攻のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

教科教育専攻は、国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術教育、家政教育、英語教育の10専修をもち、少人数授業によって各自の問題意識を深めることで教育実践の場において教育研究の推進者となりうる実践力のある指導者を養成することを目的としています。また現職教員が実践的応用的研究能力を高めるための研修の場とな

ることを目指しています。これまでの活動経験に基づいた専門分野への理解と関心をもち、教育実践の場で活躍したいという意欲を持っている人、教育現場での問題を解決するための実践的研究能力を高めたい人を求めています。

●専攻のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラムの概要

共通に履修すべき「学校教育の今日的課題」と「フィールド演習」に加えて、各専修ごとに教科教育に関する科目、教科内容に関する科目を選択履修します。これらで培った研究関心は、「課題研究」を通して修士論文に結実させます。